学校番号	T3015

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	(学)育児と介護	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，子供の生活と保育や高齢期の生活と福祉について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろう。

2　学習の到達目標

育つ・育てることの背景から自分の人生をみつめる力をつける。
発育・発達を学ぶことで子どもに対する理解を深める。
高齢者や高齢期について身近に考え理解し、介護とは何か、介護を取り巻く社会状況や問題点を理解する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉の基礎的なことについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	子どもと共に育つ	1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る 3 子どもと関わる 4 子どもとの触れ合いから学ぶ 5 これからの保育環境	a: 子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために，子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 b: 子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために，子どもの生活習慣や衣食住について理解するとともに考える。 c: 子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか，考えて主体的に実践しようとする。	観察 実習 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実習 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実習 プリント
後期	超高齢社会を共に生きる	1 超高齢・大衆長寿社会の到来 2 高齢者の心身の特徴 3 これからの超高齢社会	a: 加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 b: 高齢者が生きがいを持って生活するためには，家族や地域によるどのような支援が必要か，考える。 c: 超高齢社会の課題を踏まえて，自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに，地域社会の一員として高齢者との関わり方を考え，主体的に行動しようとする。	観察 実習 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実習 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実習 プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度